

【作り方説明書】

ノースリーブの型紙

■ 詳細対応サイズ ・ 58cm ソフビ M,L,LL (スマド未確認)	■ 難易度 イージー/【ノーマル】/ハード/ハード↑/エクストラ
■サンプル使用生地の厚み 0.69mm	■用意するもの ・ニット等のストレッチ性のある布 ・ニット用の糸 ・ニット用の針 ・面ファスナー
■手縫い可否 OK	■注意事項 布の伸び具合によっては、L や LL は着られない場合があります。 L や LL に着せたい場合は良く伸びる布を使用して下さい。 伸びない布を使うと、どのサイズでも着用不可になります のでご注意ください。
■布に書き写すパーツリスト ①前身頃 1枚→そのまま 1枚 ②③後身頃 2枚→左右反転して 2枚 ④⑤見返し 2枚→ // ⑥襟 1枚→そのまま 1枚 合計：6枚 のパートで構成	

■必要な布量参考数値

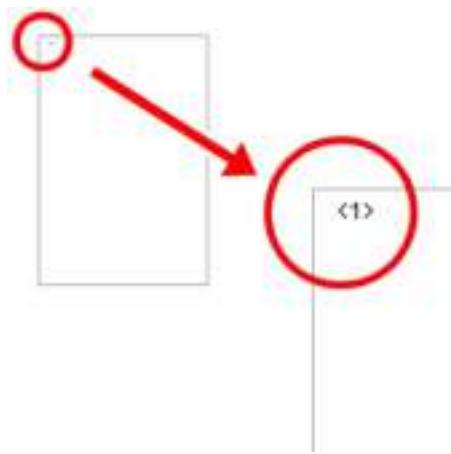
【ノースリーブの型紙 58cm】

横90cm, 110cm, 140cm

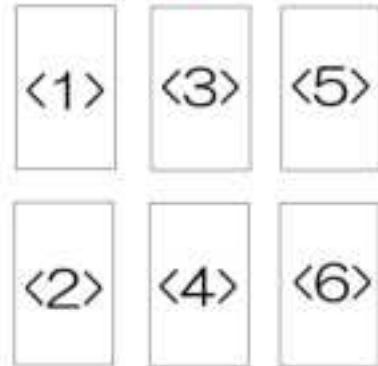


01. 型紙を貼り合わせる

- ① 型紙に割り振られている番号を確認する。
- 番号は型紙の左上に記載。
 ※①～④の右図は全型紙共通で 使用しています。
 型紙の種類によって貼り合わせる 枚数、
 数字は違います。
 枚数、貼り合わせ数字については
 各型紙をご覧ください。



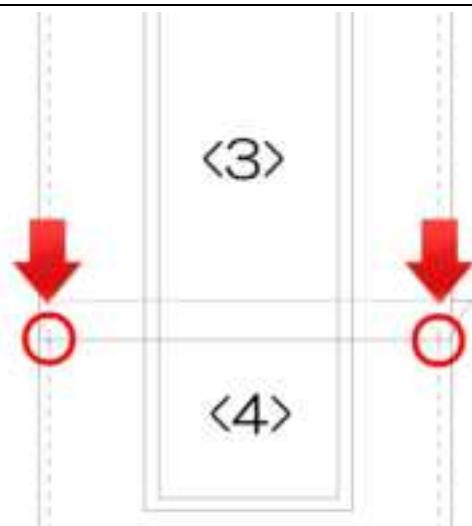
- ② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。
 「青色の数字の型紙貼り合わせる」
 という箇所に記載。



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

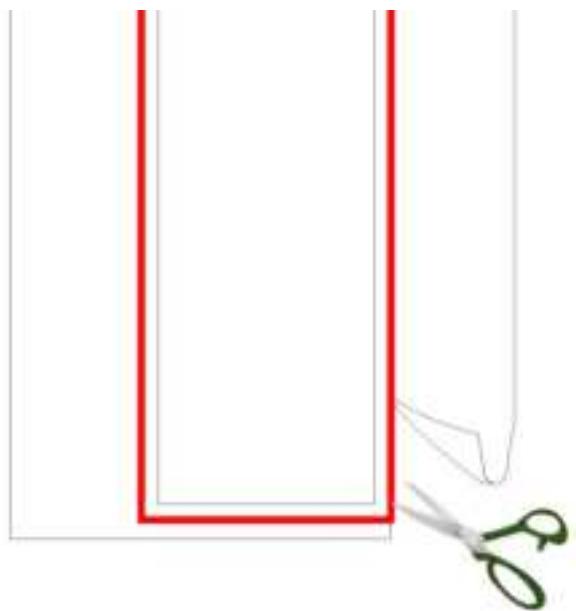


④ <5>の上部のガイドに③の下部を合わせて、表裏両方をテープで留める。



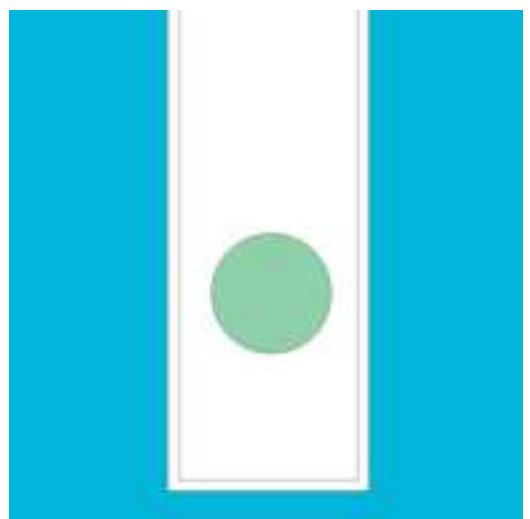
02. 型紙を切り取る。

02~07 の右図は全型紙共通で使用しています。



03. 布を裏にして型紙を置く。

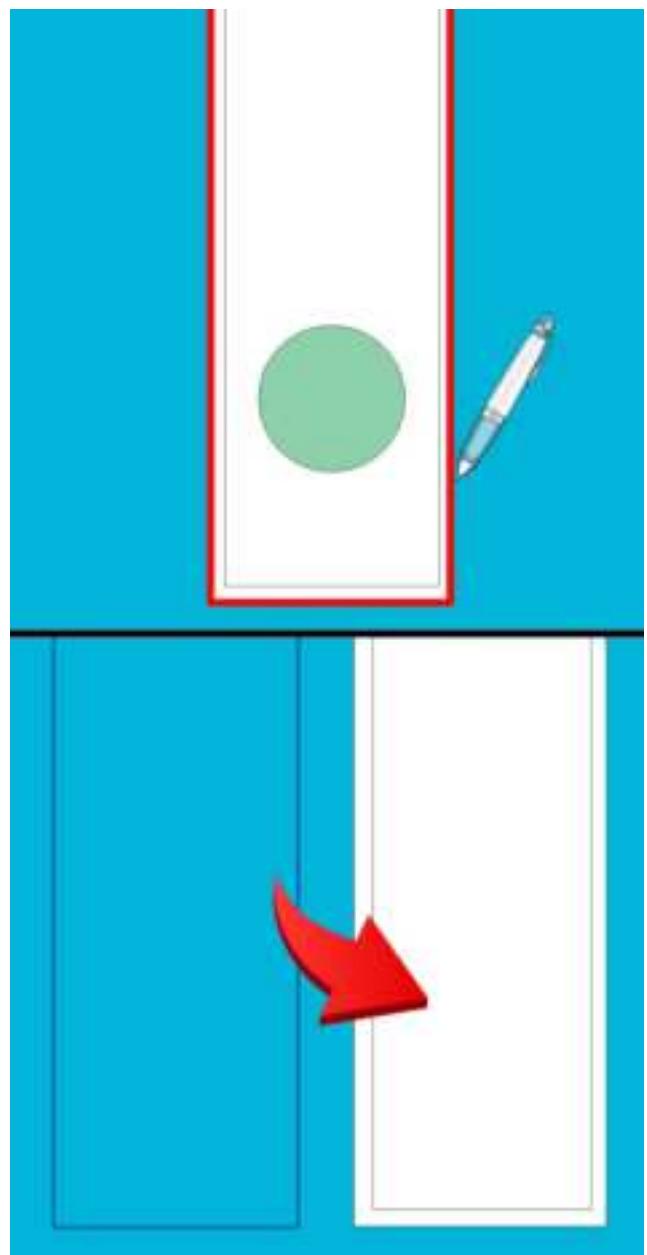
〔まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動かない様にする。〕



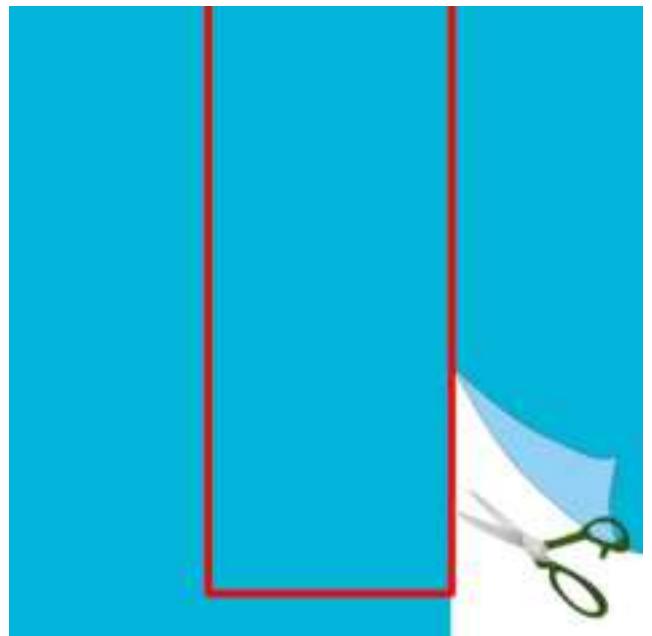
04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

〔※オススメのチャコペン〕

- ・カリスマシャープペンシル(使用中)
- ・クロバー 水性チャコペン

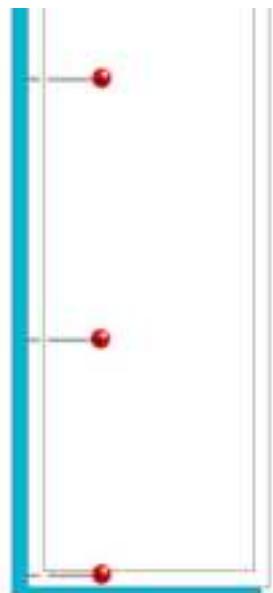


05. 04で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔型紙と布がずれない様にするだけなので、
細かくとめる必要はない。〕



07. “切りじつけ”をする。(①～⑧)

- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。

〔玉止めはしない。〕



- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

A. 型紙から刺す

B. 布を刺す

C. 0.3cm 程度すくうように縫う

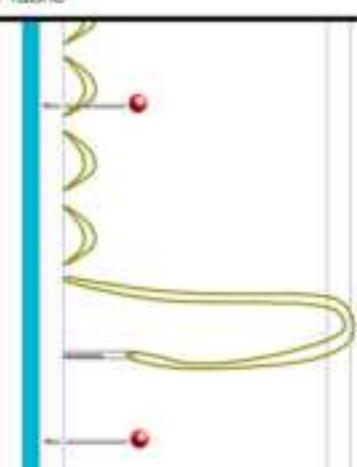
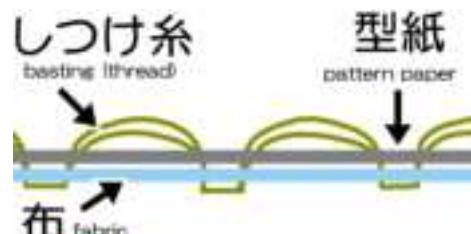
D. 型紙を刺す

E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す

A～E を繰り返す。

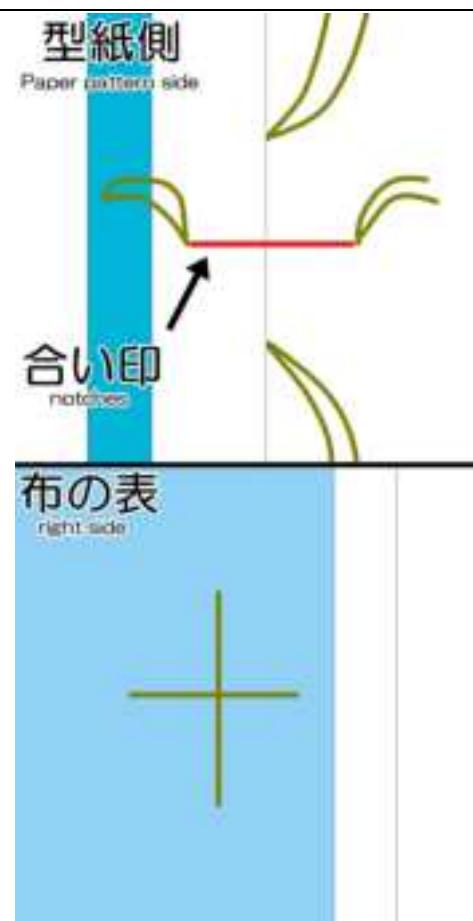
〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。〕

〔全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくてても良い。〕

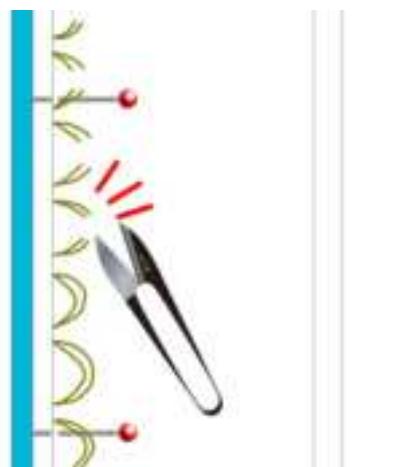




- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て
+ に見えるように針を刺す。



④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。

〔糸を抜き取らない様に注意。〕



- ⑧ しつけ糸が抜けない様に、アイロンか指で糸を寝かせる。

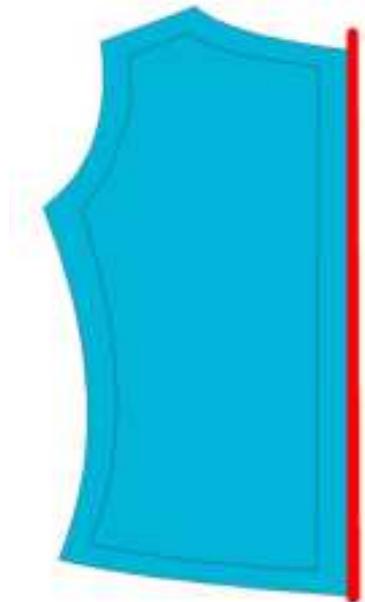


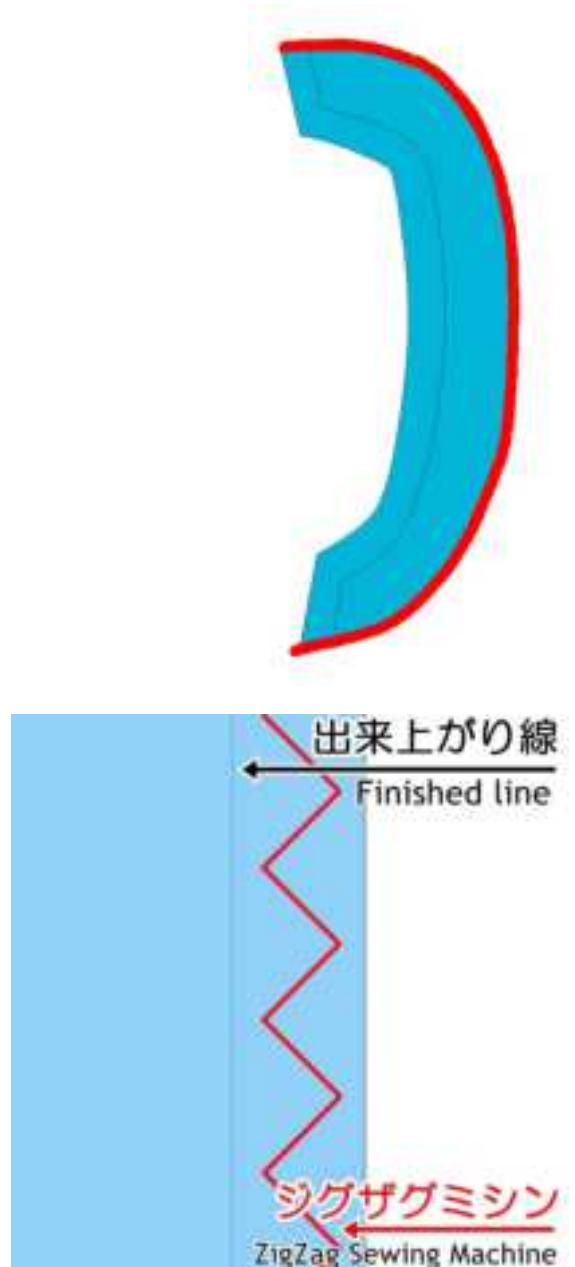
08. ミシンの針と糸をニット用に替える。



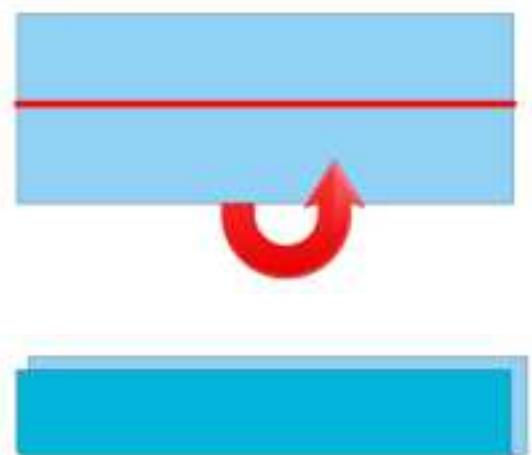
09. 後身頃×2 の背中側と見返し×2 に、ロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。

 家庭用ミシンの縫い目を左図にする。
布端から針が落ちない様に、少し内側を縫う。





10. 表が内側になる様に、襟パーティを真ん中で折る。



11. 両端を縫う。

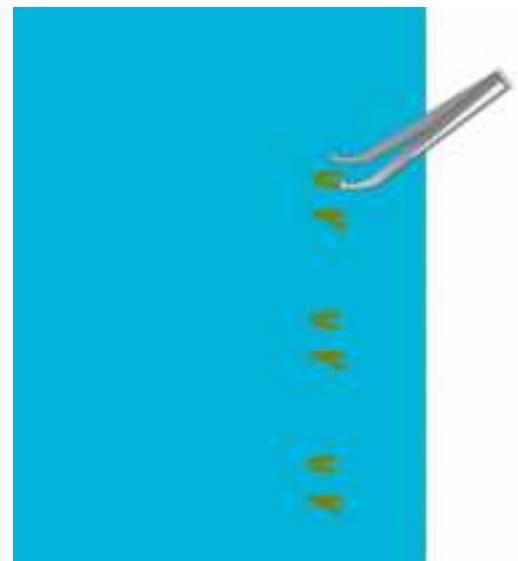


家庭用ミシンの縫い目を左図にする。



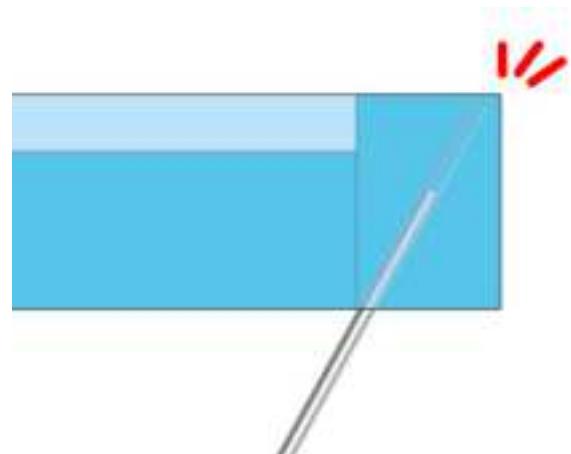
12. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。
以降、縫つたら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。

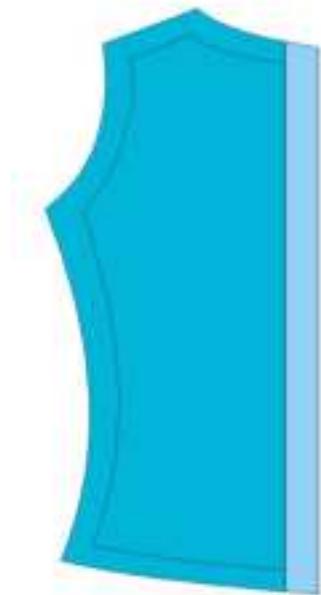


13. 表に返して、太い針の“糸を通す方”

で角を優しく押し出す。

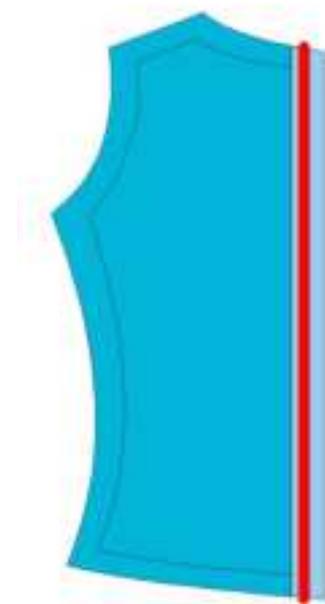


14. 後身頃×2の“谷折り”を折る。



15. 後身頃×2の折ったところを縫う。

[出来上がり線から0.7cmくらいのところを縫う。]



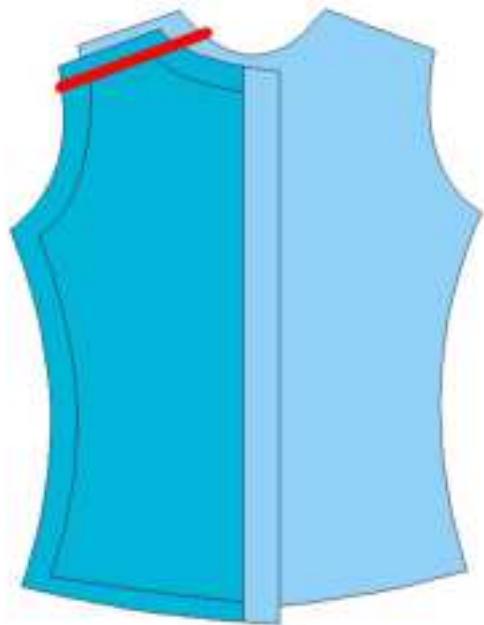
16. 表が内側になる様に、

前身頃と後身頃の肩を合わせて縫う。

[SNP：サイドネックポイント。肩の首の付け根。]

[SP：ショルダーポイント。肩の頂点。]

反対側も同じように縫う。



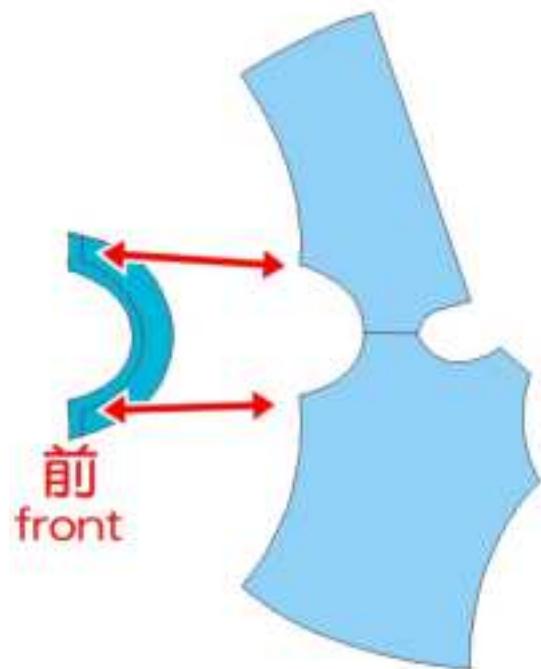
17. 肩を2枚一緒にロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。



18. 表が内側になる様に、見返しと袖ぐりを合わせる。

袖ぐり：袖を付ける為の身頃側のカーブ。

見返しの”前”が前身頃側になる様にする。
肩の縫い代は後身頃側に倒す。



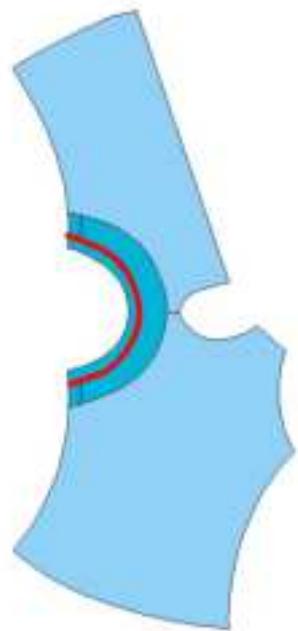


横から見た時
Side view

前身頃
front bodice

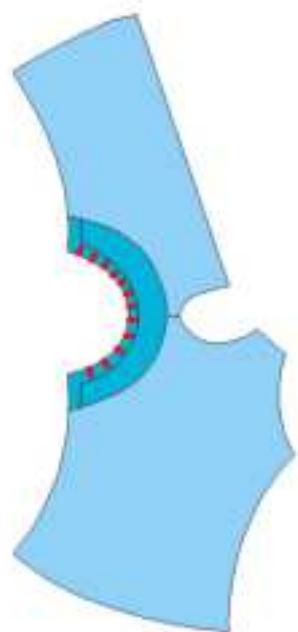
後身頃
back bodice

19. 袖ぐり×2を縫う。

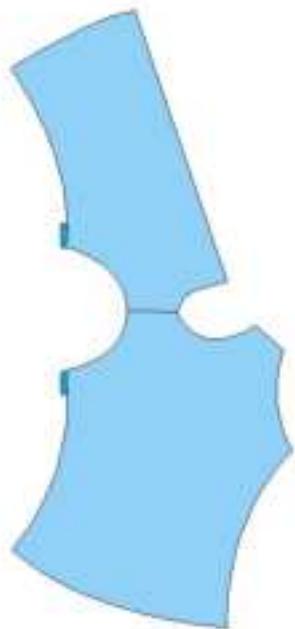


20. カーブに切り込みを入れる。

〔 反対側も同じように切る。〕

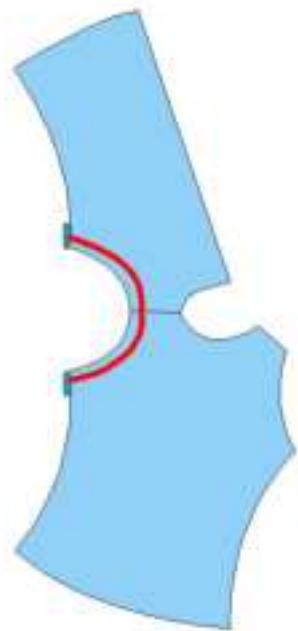


21. 見返し×2 を折り返す。



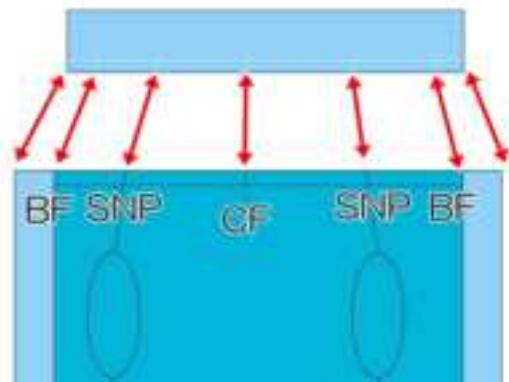
22. 縫を縫う。

〔 反対側も同じように縫う。 〕

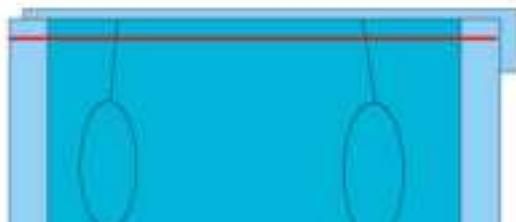


23. 身頃に襟を合わせる。

〔 身頃より襟の方が短い為、伸ばしながら縫う。 〕



24. 出来上がり線で縫う。



25. 縫った所をロックミシンか、

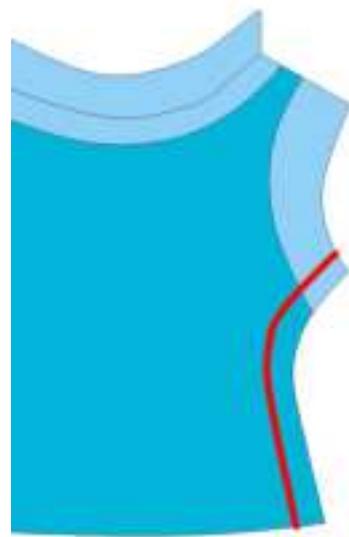
家庭用ミシンのジグザグで縫う。

〔 襟と身頃と一緒に縫う。 〕



26. 裾から袖ぐりまでを縫う。

〔 反対側も同じように縫う。 〕



27. 縫った所をロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。

〔 2枚一緒に縫う。 〕

〔 反対側も同じように縫う。 〕



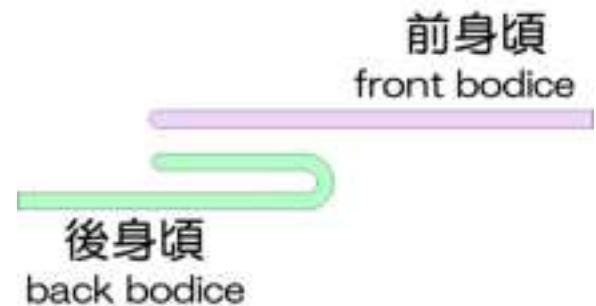
28. 裾をロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。

〔 縫い代は後身頃に倒す。 〕



下から見た時

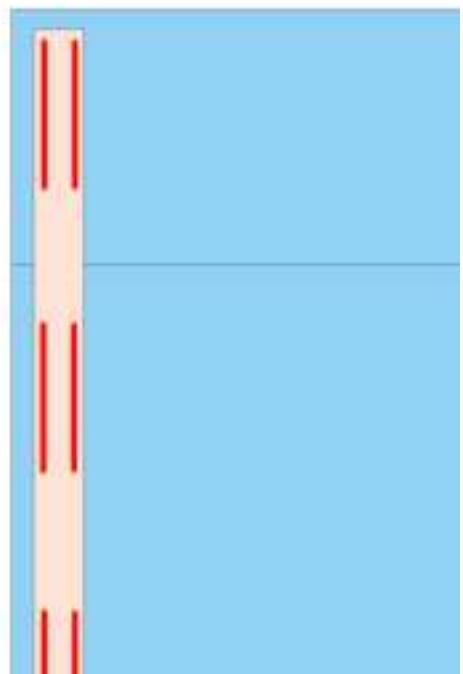
View from below



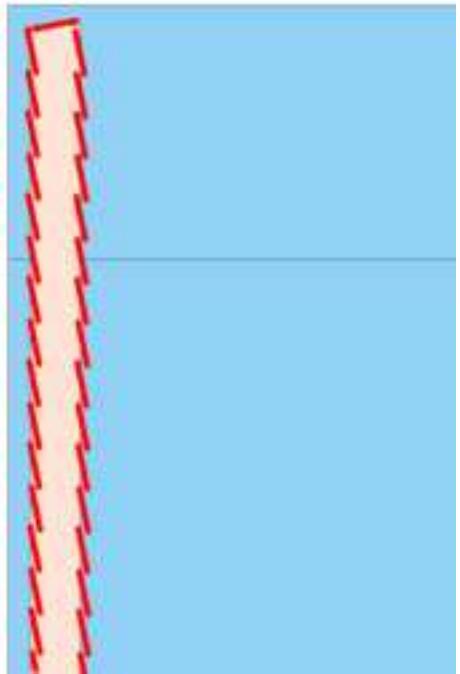
29. 出来上がり線で折って縫う。



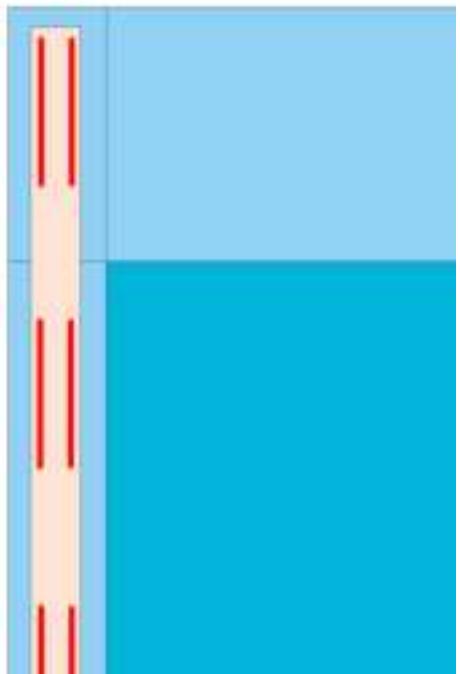
30. 後身頃右側の縫い代に、面ファスナーをしつけ糸で仮縫いする。



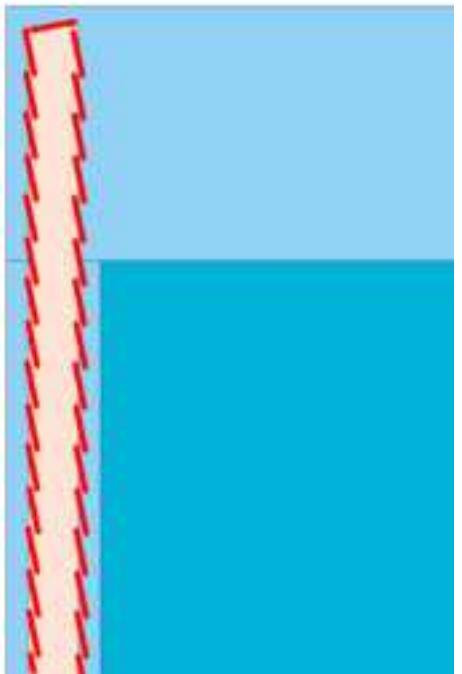
31. 30で仮縫いした面ファスナーの周りを、まつり縫いで付ける。



32. 後身頃左側の縫い代に、面ファスナーをまつり縫いで付ける。



33. 32で仮縫いした面ファスナーの周りをまつり縫いで付ける。



お疲れ様でした！